

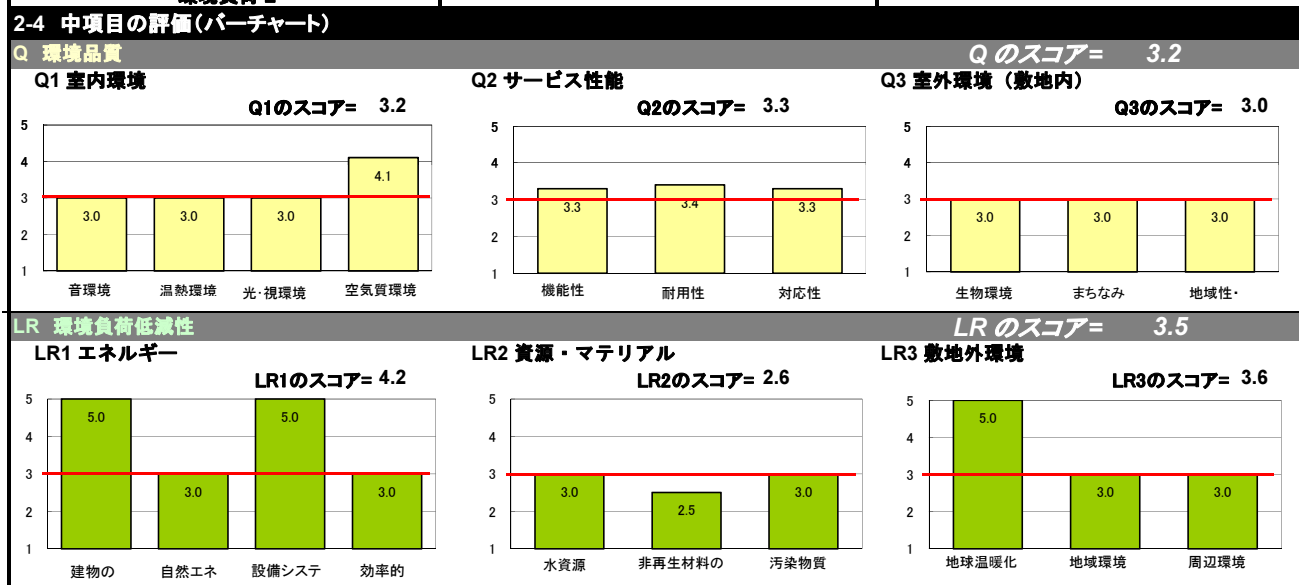
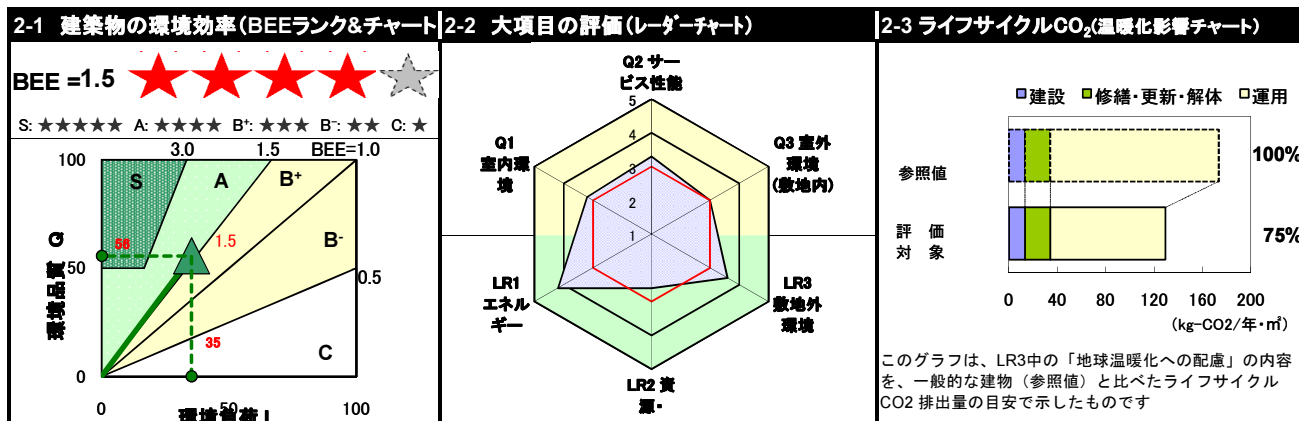


新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	京都医療センター新病棟	階数	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	京都府京都市	構造		
用途地域	第1種中高層住居専用地域他、準防	平均居住人員		
気候区分	地域区分IV	年間使用時間		
建物用途	病院	評価の段階		
竣工年	2011/22/1 予定	評価の実施日		
敷地面積	59,958 m ²	作成者		
建築面積	1,908 m ²	確認日	(株)ノム建築設計室	
延床面積	8,683 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 快適な療養環境の実現。病院としての機能性の確保。 建設コストを抑えること。		その他 特になし。
Q1 室内環境 VOC放散量の少ない材料を用いる。 十分な換気量を確保する。 効率的な空調ができるよう、適切なゾーニングを行う。	Q2 サービス性能 過剰な設備にならないよう考慮しつつ、必要とされる機能を確保する。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の空地を広く確保する。緑地を保存する。
LR1 エネルギー 熱源として、電気とガスとのもっとも効率的な組み合わせを図る。	LR2 資源・マテリアル 雑用水には、井水を用いる。	LR3 敷地外環境 医療用排水は、中和槽で処理してから排出する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される